

第48回日本陸上競技連盟トレーナー研修会報告書

先日開催されました日本陸上競技連盟トレーナー研修会についてご報告いたします。

記

1. 日時 2023年1月8日(日)
2. 場所 Zoomを用いたオンライン形式
3. プログラム

トレーナー部総会

「アンチ・ドーピングの最新情報」

山澤文裕先生(日本陸連医事委員長、丸紅健康開発センター)

「日本代表報告：オレゴン2022世界陸上競技選手権大会」

砂川祐輝先生(日本陸連トレーナー部部員、Well 鍼灸整体・ピラティス)

「2022年活動報告：アウトリーチ活動および新救護記録について」

加藤 基先生(日本陸連トレーナー部委員、帝京大学)

廣重陽介先生(日本陸連トレーナー部委員、帝京大学)

講義 テーマ –最新の整形外科的アプローチの理解–

「最新の整形外科的アプローチ1：多血小板血漿治療(PRP)」

金子晴香先生(日本陸連医事委員、順天堂大学)

「最新の整形外科的アプローチ2：体外衝撃波治療(ESWT)」

田中健太先生(日本陸連医事委員、医療法人慈厚会野上病院)

「最新の整形外科的アプローチ3：高気圧酸素治療(HBO)」

柳下和慶先生(東京医科歯科大学)

「総括」

4. 内容

今回の研修会は、オンラインで開催致しました。

トレーナー部総会は、岩本部長の年頭の挨拶の後、山澤先生からアンチ・ドーピングについて基本的な理解の確認や世界の陸上界におけるドーピング関連諸問題、2023年の国際基準など具体的かつ最新の情報を提供して頂きました。また、砂川トレーナーからオレゴン世界陸上における日本代表活動について、コロナ禍での現場の状況を交えて報告して頂きました。そして、加藤委員から2022年の新たな取り組みとして行ったアウトリーチ活動と新救護記録について報告して頂きました。

講義は「最新の整形外科的アプローチの理解」をテーマに、多血小板血漿治療、体外衝撃波治療、高気圧酸素治療についてそれぞれの分野を牽引されているご経験豊富な医師の方々に講師としてご登壇頂きました。各治療法の概念、適応、整形外科治療における立ち位置、そして大変貴重なエビデンスと実臨床についてご供覧頂きました。選手を支えるトレーナーとして必要となる最新かつ幅広い知識を得る機会となりました。

以上